

FirstGlobal メッセージ

siesta

2014.3月号 vol.130

*シエスタとは、スペイン語で『昼寝』の意味です。
リラックスしながらお読み下さい。

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピックス

ソチ五輪

17日間にわたってロシアのソチで開催された冬季オリンピックが閉幕しました。毎度のことですが、期待された選手がメダル獲れた、獲れなかった、獲れなかったのはなぜか?などが後付けのように議論されます。またフィギアスケート女子のキム・ヨナ選手の採点に対し、異議が唱えられ、韓国側で20万人近くの抗議の署名が集まったそうです。仮に浅田真央選手が同じ立場なら日本ではそこまではしないでしょう。また明治天皇の玄孫である竹田恒泰氏の「メダルは噛むな」発言、森元首相の「浅田選手は大事などころでは必ず転ぶ」発言に対して、バッシングが行われています。これらの発言を全面的に肯定するつもりはないですが、発言の一部を抜き取り、発言者の真意が伝わらずに、世に出回るのは本当に怖いのです。まあ、だからこそ、軽率に発言してはいけないのかもしれません。

私が購読しているキャスターの辛坊治郎さんの有料メルマガにあったのですが(これも朝日新聞からなのですが)、見事、日本唯一の金メダルをもたらした男子フィギアスケートの羽生結弦選手は結構重いぜんそくに悩まされていたようです。気管支ぜんそくの薬というとエフェドリンですが、かつてぜんそく持ちの選手が金メダルを獲得したにもかかわらず、ドーピング検査でエフェドリンが検出され、メダルを剥奪されたケースもあったので、羽生選手にそういう話が起らなかったのは、おそらくぜんそくに劇的に効く薬を服用せずに大会に臨んでいたのでしょう。ということは、フリーの演技を終わって、ゼーゼーハーハー言っていたのは、単に細身でスタミナがないという理由からだけではなく、ぜんそくの影響もあったからなんですね。身内にもぜんそく持ちの者がいますが、大人になってもなかなか治らないようです。羽生選手も第一線で活躍する限り、この問題に向き合うことになるのでしょうか、負けずに感動を与え続けてほしいものです。しかし、オフは実家の旅館に自転車で2時間半をかけて出勤し、仲居さんをしている、スノーボードで銀メダルに輝いた竹内智香選手など、みな遅いのです。

< next >

篠山マラソンの結果はまた来月(2月)にとお伝えしましたが、厳密には次号でのご報告になります。ただいま追い込みで走っているところですが、自己管理の不徹底で風邪を引いてしまい、直前のこの時期に休んでしまいました。何はともあれ、完走あるのみ!!